

# 回生ニュース

社会医療法人 峰和会

K a i s e i N e w s

97号

2017.11月発行

発行/社会医療法人 峰和会  
編集/鈴鹿回生病院  
所在地/鈴鹿市国府町112番地の1  
TEL/059-675-1212  
FAX/059-675-1717  
URL/http://www.kaisaihp.com  
編集協力/TCKnagaya

- 1 医療の現場から  
「脊椎・脊髄センター」
- 2 あなたの街のお医者さん  
「湯浅整形外科」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表  
交通案内(三重交通バス・シャトルバス時刻表)
- 4 鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「食源動源」  
・認知症シリーズPart3 ~認知症予防運動~  
・伊達巻き寿司
- 6 回生.com  
「ドクターズリスト」外科 統括診療部長 富田 隆
- 7 Information

ほっとsmile 他

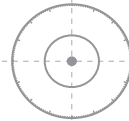
## Christmas Concert

2017

今年も、恒例のクリスマスコンサートを開催します。  
ゲストコンサートや職員によるハンドベル演奏、院内サークル  
「響」による三味線演奏など、内容は盛りだくさん。皆さんの  
ご参加、お待ちしております！

12月16日(土曜日) 午後2時~

病院1F エントランスホールにて



# 脳神経外科パート④



## 脊椎脊髄センター

Neurosurgery

9月より脊椎・脊髄センターのセンター長として水野正喜医師が赴任されました。今号では、脊椎・脊髄センターの概要をお伝えします。

### 脊椎・脊髄センターとは

日本では一般的に、首や腰の痛みがあると整形外科を受診される場合が多いですね。実は欧米では、脳神経外科も腰のヘルニアや首の手術を日常的に行っています。整形外科の場合は骨から、脳神経外科は神経から診察することが多く、それが調度組み合わせられているのが「脊椎・脊髄」なんです。「脊椎」というのは骨の事、「脊髄」が神経の事なんです。脊椎・脊髄センターはこの骨と神経の両方でしびれや痛みが発生している方の治療、さらには手足の末梢神経までの病気を治療する部門です。手や足のしびれや痛み、頸部や腰部の痛み、肩こりや腰痛、手の細かい動きがしにくい、足が思うように動かなくて歩きにくい、などの症状を有する患者さんが対象になります。頚椎症、後縦靭帯骨化症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症などの脊椎変性疾患や、脊髄神経の腫瘍、手根管症候群や上脛皮神経障害などの末梢神経の病気の治療を行います。

### より有効的な治療のために

検査はレントゲンやMRIが一般的です。それでもはっきりしない場合は診断的治療といって痛みのある場所にブロック注射をしたり、入院して脊髄造影という検査を行います。神経内科の先生に協力していただく電気生理学的検査では、電気を通してみて感覚がどのように脳まで伝わっているかを調べます。理想としては、お年寄りやメタボぎみな方は、投薬だけでは治らないので、腰痛体操、生活習慣を改善するような筋力強化トレーニングをしっかりと行っていただくことが大切です。医師と患者さんだけでは治らない部分をリハビリなどで補うのがベストです。当院は整形、スポーツ医学、リハビリに特化しておりますので、有効的な治療を行うことができると思います。

### 今後の取り組み「低侵襲の治療」

たとえば椎間板ヘルニアの内視鏡手術では、創部は1センチほどで治療ができたり、針一本ほどの穴から椎間板を焼



**脳神経外科・水野正喜医師**  
三重大学脊髄末梢神経低侵襲外科学講座教授  
◆出身大学／三重大学  
◆専門領域／脳神経外科一般・脊髄脊髄疾患  
◆資格認定等／日本脊髄外科学会理事・指導医、日本脳神経外科学会代議員・専門医・指導医、日本脊髄障害医学会評議員、末梢神経の外科研究会世話人、近畿脊髄外科研究会学術評議員、中部脊髄外科ワークショップ世話人、Summer Forum for Practical Spinal Surgery 世話人、低侵襲内視鏡脊髄神経外科研究会世話人、房総脊椎脊髄手術手技研究会世話人

いて行う治療もあります。このように手術を行っても、できるだけ早く社会復帰ができる方法で治療を行うことが理想であると考えています。今までも内視鏡という手技はあったのですが、皮膚を切開して治療していました。今の脊椎内視鏡は経皮的に針を刺して細い穴からアプローチしますので、より侵襲が少なく傷も小さく入院期間も短いです。現在三重県内には、他に低侵襲の内視鏡を使っている施設はないため、当院が唯一の経皮的内視鏡の治療を行っている病院です。

傷を小さく、社会復帰を早く、患者さんの負担の少ない治療を目指し、リハビリを含めて総合的な治療に慣れた実績のある回生病院で、医師・コメディカルとチームを組み、よりよい治療を行って参ります。



## 連携医療機関紹介

## 湯浅整形外科



湯浅美仁院長



湯浅公貴先生

## 親子3代にわたって

湯浅整形外科は近鉄鈴鹿市駅より南へ徒歩2分ほどのところにあります。



院長の湯浅美仁先生は、昭和39年三重県立大学（現三重大学）をご卒業後、三重県立総合塩浜病院（現三重県立総合医療センター）にて整形外科医として研鑽を積まれたのち、昭和50年12月、この地に開業されました。

その昔、ここはご尊父さまが院長を務める産婦人科医院でした。そんなご尊父さまの背中をみて、自然に医師を目指されたといいます。「昭和20年代は産婦人科は少なく、この地域のお産は父がすべてしていたのではないのでしょうか？。そのため父とは一緒に食事をした思い出もないほど年中忙しくしていたので、私には産婦人科医は難しいと思い、医学部に進んだ当初は内科へ行くつもりでいました。ところがインターンの時に整形外科で骨折の手術をみたんですね。そこで興味を持ち

整形に進んだわけです。産婦人科医院は、父が昭和43年に亡くなって以来閉院してしまっただけで、この近辺には整形外科も少なかったため、昭和50年12月、産婦人科の看板だけが残っていたこの場所に開業したんですよ。そんな先生は手の外科がご専門。回生病院の藤澤名誉院長は後輩なのだから。先生御年77歳です。

ご子息の湯浅公貴先生は平成10年山形大学をご卒業後、三重大学整形外科教室にご入局されました。その後、静岡市立静岡病院、草の実リハビリテーションセンター（現三重県立子ども心身発達医療センター）、大台厚生病院などの医療機関にて研鑽を積まれました。「草の実リハビリテーションセンターでは子どもならではの脳性運動障害から、股関節の血の流れが悪くなるペルテス病の保存療法やリハビリテーションなど、子どもの勉強をどう保証しながら医療を提供するのかという部分でいい経験をさせていただきました。大台厚生病院では全く正反対の老人医療を学ばせていただき、平成27年5月より、湯浅整形外科の診療に加わりました」。

## 骨粗しょう症

手の外科、整形外科全般の診療を行っている湯浅整形外科ですが、なかでも公貴先生が大学院時代イタリアで学んだ骨代謝について伺うと「身近なところで、骨粗しょう症が代表的な疾患になります。骨密度の検査は院長もいち早く導入しておりますが、そこに、最近の標準的なやり方として血液検査やレントゲン検査も加えて行っております。骨がもろくなってしまっただけから元には戻りません。それ以上悪くならないようにするしかないのです。寝たきりになってしまう骨折を起こさないように健康寿命を延ばすため一番身近な病気が骨粗しょう症です。50歳くらいから検査を受けることをお勧めします」。

## DATA

TEL 059-383-1338

## 住所

三重県鈴鹿市神戸1-2-18

## 診療科目

●整形外科 ●リウマチ科  
●リハビリテーション科

## 診療時間

午前／8時30分～12時00分  
午後／3時00分～6時30分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

## 休診日

木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



## 患者さんへのメッセージ

～自分が学んできた小児医療も老人医療も、この地域には鈴鹿回生病院や鈴鹿中央総合病院などのバックアップしてくださる頼りになる病院がありますので、ここで割り振りさえ間違えなければ、子どもの治療も存分にできます。老若男女問わず、診療を行っていますので、痛みを中心として体からのサインがあったら耳を傾け、相談に来てください。稀な病気の場合などは適切な医療機関に紹介させていただきます。また、痛くなくても骨粗しょう症の検査は、受けてくださいね～

今後も、更なるご活躍を期待しています。



今号も、認知症予防になる、頭と体を使った最新エクササイズを紹介します。

つま先立ち >>

素早く上げて、ゆっくり下ろす。1・2・3で上げて  
4・5・6・7・8・9で下げる。

運動+頭の体操 >>

- 野菜の名前をたくさん挙げる
- あいうえお→おえういあ などと逆唱する



Point

- 間違えても運動を続けること
- 1日30分を目安とし、10分×3回でもよい
- 無理のない範囲で行い、週3回以上続けましょう



発信@  
栄養管理室

管理栄養士  
山添 晴花



●伊達巻き

色形が華やかで晴れがましい料理に用いられ、おせち料理でも人気の高い伊達巻き。ひと手間加えて巻き寿司にすることで少ないご飯でもボリュームがあり、さらに華やかな一品に仕上がります。和風のクリスマス料理として食卓にいかがでしょうか。



【栄養成分】1人分あたり

エネルギー	492kcal
たんぱく質	24.4g
脂質	16.4g
塩分	2.0g

ピックアップ食材  
伊達巻き



伊達巻き寿司



【材料】(1本分)

卵	2個
はんぺん	1/2枚(50g)
かつおだし汁	大さじ2
砂糖	小さじ1/2
みりん	大さじ1
油	小さじ1/2
ご飯	80g
米酢	大さじ1弱
砂糖	小さじ1
きゅうり	1/2本
☆作りやすい量(1本当たり1/3量使用)	
干し椎茸	6個
戻し汁	1/2カップ
醤油	小さじ1
みりん	小さじ1/2
酒	小さじ1
いくら	ティースプーン2杯

(とびこなどでも鮮やかに仕上がります)

【作り方】

- 温かいご飯にBを加え冷ましておく  
きゅうりは縦半分にし、干し椎茸は水に戻して細かく切っておく
- ①Aをミキサーに入れて生地が均一になるまで攪拌する
  - ②油を熱した卵焼き器にAを流し入れ、蓋をして弱火で5分くらい加熱する。生地を触って手に付いてこなければ皿に出しておく
  - ③椎茸とCを鍋に入れ、汁がなくなるまで火にかける
  - ④②をまきすの上に置き、手前に酢飯・きゅうり・③をのせて巻いていく(輪ゴムをしてしばらく置いておくとなじみやすい)
  - ⑤④を等分し、イクラをトッピングして完成

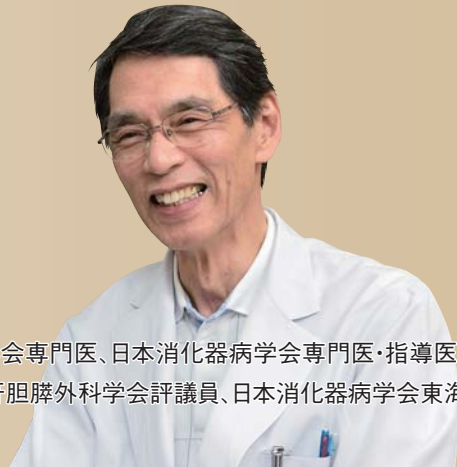
このコーナーでは毎号当院のドクターを紹介してまいります。

# Doctors List

**富田 隆** とみだ たかし 外科 統括診療部長

専門領域:消化器外科、乳腺外科

資格:日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本肝臓学会専門医、日本消化器病学会専門医・指導医、死体解剖資格認定医、日本救急医学会ICD、三重大学医学部臨床教授、日本肝胆膵外科学会評議員、日本消化器病学会東海地方会評議員、東海外科学会特別会員



## Q1. 出身地はどちらですか？ 幼少時の思い出を聞かせてください

津生まれの津育ちです。高校だけは電車で通いましたが、幼稚園から大学まで歩いて通ってました。私の幼少時は、津の西側は山ばかりで、山でよく遊びました。その頃は防空壕がまだあり、その穴に隠れて遊んでいました。3人兄弟の末っ子で、二つ上の姉の後ろばかりついて歩いていたそうです。姉にはいまだに言われます。



幼少時の先生

## Q2. なぜ医師をめざしたのですか？

幼少時はパイロットに憧れた時期がありました。教員、スポーツ選手にも興味がありましたが、中学の時にブラスバンドでトランペットを経験し音楽の道も考えました。東京オリンピックの時に県庁の向かいで演奏したこともありますし、三重県大会で優勝してNHKに出たこともあります(笑)しかし、どの分野もプロはすごい、これは無理だと思いましたね。両親は医療系の仕事ではありませんでしたが、父からは「食いつぶぐれの無い医師になるといい」と言われていました。当時はうるさいなあと思っていましたが、そんな助言のおかげで医師を選んだようにも思います。

## Q3. 外科を専門にしたのはなぜですか？

あの頃は、外国帰りの医師は少ない時代でした。その時代にアメリカでレジデントをして講師までされていた外科の先生がちょうど日本に帰国しており、その先生の夜中のカンファレンスによく行かせていただきました。それがきっかけで外科に進んだと記憶しています。

## Q4. 趣味や好きな事 (ストレス発散方法など)は何ですか？

歴史小説が好きですね。私の歴史の知識は小説から来ていると言っても過言ではないですね。なかでも古代中国の偉人にスポットを当てた作品を得意とする宮城谷昌光や、日本の歴史小説の第一人者、司馬遼太郎などが好きです。本屋へ行って同じ本を買ってきてしまうこともあるので、うちでは邪魔者扱いされています。音楽では1960～70年代前後のジャズが好きです。

## Q5. 今後力を入れて行きたいことは何ですか？

これからは患者さんの負担を少なくすることや、内視鏡の手術、腹腔鏡の手術ですね。今後はさらに増えると思います。消化器疾患全般について、また緊急を要する疾患は何でも受けます。

## Q6. 学生時代の思い出をお聞かせください

スポーツが好きで、高校の時はバレー部でしたが大学ではサッカー部で汗を流していました。また、「サニーオールスターズ」というジャズバンドに所属していました。このバンドはさらに進化し今でも続いています。また、プロが主催する楽団へ入って演奏を続けている先輩もいます。当時、西日本の音楽祭典があり、西日本のあちこちで演奏していました。他大学ですがプロ級レベルの強者がいて、彼はヤマハのコンクールで2位になりましてね。医者をやめて東京へ行くと言いだした為、みんなで止めたと言う話を聞いたことがあります。高校の時も、高校野球の応援団がいますよね。そこにちょっと入れてと、飛び入り参加してトランペットを吹いていたこともあります(笑)



高校生時代



大学生時代

## Message

患者さんへのメッセージ

基幹病院として多くのがん治療を行っております。終末期のがん患者さんが少しでも楽に過ごせるよう緩和医療に重点をおき、患者さんに優しい治療を心がけてまいります。

## 第9回 亀山市脳卒中市民講座開催

当院の荒木副院長をはじめ脳卒中の専門医が病気についてわかりやすくお話しします。講演の最後には、皆様からのご質問をお受けするコーナーもございます。入場無料となっていますので、皆様お誘い併せの上、お気軽にご参加ください。



**開催日時** 11月11日(土) 午後1時~

**場所** 亀山市文化会館

三重県亀山市東御幸町63 ☎0595-82-7111

詳しくは、当院ホームページ、各科掲示ポスター、チラシ等でご案内しています。

## 11月14日は、「世界糖尿病デー」です

世界糖尿病デーは、糖尿病の脅威が年々世界的に拡大している状況を受け、世界規模で糖尿病抑制に向けた啓発活動を推進する目的として指定されました。当院でも、糖尿病についてもっと多くの人に正しく理解していただくため、糖尿病教室を担当しているスタッフがそれぞれの専門分野で糖尿病について知っていただきたい内容のポスターを掲示します。是非お越しください。

**場所** クリニック多目的室 **期間** 11/6(月)~11/17(金)

## 平田野中学 職業体験

9月19日から22日の4日間、職業体験として平田野中学校の2名を受け入れました。薬剤師と看護師の様々な仕事を懸命に笑顔で取り組む姿に、私たちも刺激をうけました。将来の職業や進路を考える一助になることを願っています。



## 糖尿病教室のおしらせ

糖尿病教室を開催します。開催の1週間前までに下記へお申し込みください。

都合により日時が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

12/14(木)	11:45~13:45
1/18(木)	11:45~13:45
2/8(木)	14:00~16:00
3/8(木)	11:45~13:45

### お申し込みは

開催の1週間前までに下記までお申し込みください。

栄養管理課：059-375-1329

参加費：お一人様1000円(食事代込み)※おやつのみ(2月)は500円

※災害により中止とさせていただきます場合は前日に連絡させていただきます。

## 年末年始休診のお知らせ

12月29日(金)から1月3日(水)は休診となります。

# ほっと smile

## 転倒・骨折を予防しよう

平成29年9月15日(金)に名古屋大学名誉教授の猪田邦雄先生を講師にお迎えして、当院スポーツ医学センターエクササイズコースの会員様および、Nordic教室の会員様を対象としたご講演をいただきました。「転倒・骨折を予防しよう!」というテーマで、なぜ転ぶのか?、転ぶとどこが折れるのか?、骨粗鬆症の診断・治療と予防等について詳しくご講演いただき、好評につき55名のご参加をいただきました。



## 防災訓練実施!!

9月29日(金)4B病棟を主会場に防災訓練を行いました。夜間震度5強の地震が発生したと想定し患者さんの非常階段を利用した避難誘導や担架を利用した患者搬送方法の確認、消火栓を利用した初期消火、消火器の操作を行いました。



## 新任医師のご紹介



脳神経外科

中塚 慶徳

(ナカツカ ヨシナリ)



### 編集後記

今回は「脊椎・脊髄センター」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。

鈴鹿回生病院 広報委員会

〒513-8505 三重県鈴鹿市市町112番地の1

TEL059-375-1212 ✉mail:info@kaiseihp.com

### 病院の理念

### 生命への奉仕

### 病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し安全で高度な医療を提供します
- ▶ 将来を担う有能な医療従事者の育成に努めます
- ▶ 地域と連携し災害時救援活動を行います
- ▶ 働きやすく健全な病院運営に努めます